

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全131コース('24.12月現在)）

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
 - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

'23年度
岡山県実績

受講者数 **1,829**人 利用した企業数 **231**社

受講者評価
(業務への役立ち度) **98.3** %

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

- ・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの
コーディネート

- ・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入して業務を効率化したい。

- 分野・コース
- 生産管理、流通・物流、バックオフィス など
- ・生産現場の問題解決
 - ・RPA活用
 - ・テレワークを活用した業務効率化 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- 分野・コース
- リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成 など
- ・成果を上げる業務改善
 - ・リスクマネジメントによる損失防止対策
 - ・作業手順の作成によるノウハウの継承 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- 分野・コース
- 営業・販売、マーケティング、プロモーション など
- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
 - ・提案型営業手法
 - ・提案型営業実践 など

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

- 分野・コース
- ネットワーク、データ活用、情報発信 など
- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
 - ・集客につながるホームページ作成 など

訓練受講

- ・所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

らしく、はたらく、
ともに

お申込み・お問い合わせは



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部

ポリテクセンター岡山 生産性向上人材育成支援センター



〒700-0951 岡山市北区田中580 E-mail : okayama-seisan@jeed.go.jp
TEL : 086-241-0076 FAX : 086-241-1909

ポリテクセンター岡山

(2024.12)

生産性訓練
利用者の声①

丸茂工業株式会社 様

「知識を身に付けたことで、仕事に対する自信が深まりました」

利用コース情報

- ・訓練コース名：「049 提案型営業手法」
- ・訓練期間：令和5年6月
- ・受講者数：6名

プロフィール

- ・所在地：愛知県常滑市
- ・従業員数：175名
- ・事業内容：輸送用機械器具製造（熱間鍛造品全般）



<訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した効果や受講者の方の反応をお聞かせください。

A 専門的な知見を有する講師の方々に、各受講者のレベルに合わせてカリキュラムをカスタマイズした上で、演習を交えながら丁寧に指導してもらえたことから、従業員の理解も確かなようで、加えて、グループワークでのディスカッションなどを通じて、新たな気づきが得られているようです。

訓練で得られた内容はそれぞれの従業員が実務で実践しており、これまでの個々の経験等に基づく知識に訓練で学んだ知識が加わることで、より知見が増し、仕事の自信にもつながっているようです。

<訓練を受講した方への声>

Q 受講した感想をお聞かせください。

A 訓練を受講して、自社の強みを整理し、営業先のニーズを探り、営業先担当者のプロファイリングを踏まえ効果的な提案する手法を、ディスカッション形式のグループワークにより習得することができました。さらに、作成した3つのシートを用いた提案営業をロールプレイングで実践的に体験することにより、訓練内容が実際に身に付いたと感じています。訓練受講後は、自分自身の営業スタイルにも厚みが増し、相手に応じた営業戦略を立てた上でのお客様への提案（訪問、電話、メール）や社内の報告資料に各シートを活用した業務の効率化や定量化にも役立てています。今後も積極的に訓練へ参加することで、自身及び社内の課題改善につなげていきたいと考えています。

生産性訓練
利用者の声②

株式会社中温 様

「部門間の業務連携が強化され、残業時間の大幅な削減につながりました」

利用コース情報

- ・訓練コース名：「038 事故をなくす安全衛生活動」「124 オンラインプレゼンテーション技術」等
- ・訓練期間：令和5年7月～8月
- ・受講者数：延べ32名

プロフィール

- ・所在地：愛媛県松山市
- ・従業員数：192名
- ・事業内容：農作物加工、瓶詰・缶詰・袋詰等製造

<訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した効果や受講者の方の反応をお聞かせください。

A 訓練受講後に嬉しい変化がありました。「受講者に選出されることは、会社が自分に期待しているからなのだ」と社員が気づき始めたのです。受講した社員のモチベーションがアップし、他の社員も刺激を受けて、職場全体の士気が向上しています。社員同士でお互いを高め合う、よいサイクルが生まれていると思います。

今後は、全社員のレベルアップに向けて研修制度の拡充や公的資格の取得制度、人事評価制度の見直しに取り組んでいきます。その中で、ITスキルの向上やリーダー人材の育成に向けて、訓練をうまく活用していきたいです。

<訓練を受講した方への声>

Q 受講した感想をお聞かせください。

A 私は生産管理部に所属しています。生産計画に基づき効率的かつスムーズに商品を納品できるよう、営業部門・生産部門との連携強化に努めていますが、営業が保有している情報を適切に共有し、生産効率を考慮した計画を立てることが課題でした。

訓練では、営業部門や製造部門の社員と共にフローチャートを書いたり、カードゲームをしたりしました。その過程で、部門ごとに業務上の優先順位が異なることに気づきました。

営業と製造現場、双方の視点を学べたほか、グループディスカッションにより部門間の意思疎通が図れたこともよかったです。受講後は、各部門間のコミュニケーションが円滑になり、業務連携が強化されたことで、残業時間の大幅な削減につながりました。今後は会社を背負う将来のリーダーとして活躍できるよう、受講経験を活かしながらい人材育成にも携わってまいります。

